

世界の食料安全保障に貢献する国際協力の推進（ODA）

【平成31年度予算概算決定額 2,691（2,745）百万円】

<対策のポイント>

世界の食料安全保障に貢献するため、途上国におけるフードバリューチェーンの構築支援、飢餓・貧困対策、気候変動等の地球的規模の課題への対応等の国際協力を実施します。

<政策目標>

途上国におけるフードバリューチェーンの構築、途上国の飢餓・貧困削減に向けた対策の推進、気候変動や越境性感染症等の地球的規模の課題への対策の推進

課題/背景

- 世界には約8億人に及ぶ飢餓人口が存在する中、**世界の食料安全保障**に貢献するため、生産・加工・流通・消費に至る**フードバリューチェーンの構築**を通じた農業生産性及び農村所得の向上、**農林水産業への支援**を通じた**飢餓・貧困の解消**を進めることが必要です。
- また、農林水産業への悪影響を及ぼす**気候変動**や**越境性感染症等の地球的規模の課題**への適切な対応が必要です。

途上国における フードバリューチェーンの構築支援

827（936）百万円

- 優良品種の現地への導入や農業生産の技術指導等を実施・支援します。
- 現地の食産業の担い手育成、植物の新品種が国際水準で保護される環境の整備、食品規格等の国際基準調和等を通じてビジネス環境を整備します。
- 途上国において導入可能な我が国の食産業が有する技術の調査・実証、流通・投資環境の改善等を支援します。

農林水産分野への支援を通じた 飢餓・貧困対策への貢献

278（340）百万円

- アフリカの市場ニーズに適合したイネ品種栽培方法の開発や、コメの販売による収入向上に向けた技術普及、途上国の持続的農業の推進等に係る人材育成等を支援します。
- アフリカのイモ・マメの増産・生産性向上等の研究や、アジア及びアフリカの天水稲作における生産性向上システムの開発を支援します。
- アフリカの慢性的な栄養不良を改善するための新たな栄養評価法の開発、栄養に関する講義・セミナーによる人材育成等を通じて栄養改善を支援します。

気候変動等地球的規模の 課題への対応

1,586（1,469）百万円

- パリ協定を踏まえた気候変動対策として、途上国が農地土壌からの温室効果ガスの吸排出量を評価する能力の向上、森林減少・劣化の抑制及び植林を増加させるための土地利用計画の策定に向けた取組、森林関連法制情報の整備、合法木材等の流通体制構築等の取組等を推進します。
- アジアにおける口蹄疫や鳥インフルエンザ等の越境性感染症対策及び薬剤耐性菌対策を推進します。
- 途上国や地域漁業管理機関と協力し、マグロ等水産資源の持続的利用を推進します。
- 大規模災害等に備えるための東アジア地域における緊急米備蓄の取組を推進します。
- 水資源の有効利用を推進し資源のひっ迫等に対応するとともに、洪水・干ばつへの対応を図ります。